

がん患者さんの “働きたい!!” を支えるために

現在、がん患者さんの3人に1人が働く世代にあたり、就労継続の問題がクローズアップされています。

働く世代のがん患者さんが病気を抱えながら仕事をする上で不安に感じることや、支援方法についてどのようなお手伝い出来るか考えてみませんか。

日 時：2018年 **5月25日**（金）
17：30～18：30 （受付17：00～）

場 所：四国がんセンター 本館3階研修室

対 象：医療・企業関係者、患者さん・そのご家族
就労支援に興味のある方

講 師：立石 清一郎氏

産業医科大学保健センター 副センター長

産業医科大学病院 両立支援科 診療科長

産業医科大学病院 就学・就労支援センター 副センター長

※当日参加可、参加費無料



治療と職業生活の両立とは、病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、適切な治療を受けながら、生き生きと就労を続けられることである。

（厚生労働省『治療と職業生活の両立等の支援に関する検討会報告書』より抜粋）

《主催・問い合わせ》

四国がんセンター 患者・家族総合支援室

TEL：089-999-1209